

2014年11月10日

2014年茨城県議会議員選挙
取手選挙区立候補予定者各位

放射能NO！ネットワーク取手
代表 本木洋子

福島原発事故の放射能対策と東海原発についての 政策アンケート

放射能NO！ネットワーク取手は、福島原発事故によって取手市が深刻な放射能汚染を受けたため、健康と環境を守り、地域の復興を促進するために、2011年10月結成した市民団体です。この間、フォーラムの開催、取手市との放射能対策についての交渉、国・県・市への申し入れ、調査、勉強会などを重ね活動してきました。

福島原発事故から3年以上経ちましたが、依然として放射能が垂れ流され、被災者の救援は滞り、健康への影響は調査さえ満足におこなわれていません。

さらには、こうした深刻な事態と人命軽視の反省もなしに停止中の原発を再稼働させようとしています。

つきましては、取手選挙区から県議選に立候補されるみなさまに、原発・放射能問題について今起きている事態を直視し、政治活動をおこなっていただきたく強く要望し、下記の項目について政策アンケートにご回答をお願い致します。みなさまのご回答は公選法を考慮し、適切な形で、市民に公平に公表いたします。回答は**11月20日まで**にお願い致します。
(アンケート用紙は別紙)

返信は同封の封筒をご利用いただき、当会事務局長の小泉眞理子あてにお願い致します。

放射能NO！ネットワーク取手

政策アンケート項目

- 1、「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」の実施状況についてどう考えていますか。何を求めて活動しますか。
- 2、私たちは、放射能汚染の調査と対策を引き続き行い、河川・湖沼・海についても適切に調査し対策をとることを求めています。どう考えていますか。
- 3、私たちは、東海第2原発は廃炉にすべきだと要望していますが、東海原発の再稼働についてどう考えていますか。